

4 安全で安心な、快適な暮らしを支えるまち

理念(最上位の目標) = 総合計画基本構想の「めざすべきまちの姿」の評価

◇市の評価

総括コメント	評価
<ul style="list-style-type: none"> ・5つの個別計画のうち、まだ一つしか策定されておらず、全体評価としてもBという評価になった。 ・市民に広く周知をしながら個々事業を進めている中で、事業によっては様々課題等抱えているものもあるが、社会的ニーズをとらえながら、事業やプラン等策定などに取り組んでいく必要がある。 	B

◇基幹計画に位置づけられる個別計画の総括評価結果

* 住環境形成計画	* 安全安心アクションプラン	歩行者と自転車を優先するまちアクションプラン	* 公共施設等総合管理計画	* 商工業振興計画・小坪海浜地域活性化計画
B	B	A	B	A

◇審議会・懇話会等の意見／【Check】の観点からの意見等

審議会・懇話会等総括意見

特になし

<各個別計画の評価状況についての意見>

特になし

◇審議会・懇話会等の意見／【Action】の観点からの意見等

＜計画の推進・改善に向けて意見・提案＞（今年度、来年度に向けた意見）

（基幹計画の懇話会等が作成）

特になし

＜基幹計画の今後の展開や策定に向けて考慮・検討を要する事項＞（次期計画に向けた意見）

（基幹計画の懇話会等が作成）

特になし

■個別計画進行管理総括表

* 住環境形成計画 《未策定》

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の評価

総括	評価	審議会・懇話会等の総括意見 (個別計画の懇話会等が作成)
土地利用の基本方針にうたわれた理念実現のため、条例改正に向けて、検討を行った。	B	特になし

◇施策体系別の評価

施策体系	評価	コメント	総合評価の状況			審議会・懇話会等の意見
			(a)	(b)	(c)	
1 土地利用方針の調査検討	a	都市計画の変更手続きについて、市民周知を図りながら進めた。	1			《事業進行管理表欄再掲》 評価については妥当と考える。
2 計画的なまちづくり推進事業	b	まちづくり条例施行規則の改正に向けて審議会等で検討し、方向性をまとめた。 (仮称)住環境形成計画に係る検討を行った		1		《事業進行管理表欄再掲》 評価については妥当と考える。
3						
4						

◇審議会・懇話会等の意見

＜各所管による事業進行管理表の評価状況についての意見＞

特になし

＜計画を越えた連携についての意見＞

特になし

◇審議会・懇話会等の意見／【Action】の観点からの意見等

＜事業の推進・改善に向けて意見・提案＞（今年度、来年度に向けた意見）

敷地面積の最低限度の基準の導入・運用は反対運動の署名活動が地域で実施されたことを受け止め、取組みに関し、市民への説明に一層の努力が必要だと考える。

＜個別計画の今後の展開や策定に向けて考慮・検討を要する事項＞（次期計画に向けた意見）

土地利用方針の検討に当たっては、ダウンゾーニング等具体的な手法についても検討されたい。

【総合計画の体系】	第4節 安全で安心な、快適な暮らしを支えるまち
	1 良好な住環境の形成により、くつろぎが生まれるまち
4-1	
計画における位置付け	なし（*住環境形成計画）

事業名	土地利用方針の調査検討	●リーディング事業 ○基幹計画事業	課コード	0601
			所管名	環境管理課
事業概要	目的：商業地における住宅の在り方も含め、人口減少時代のあるべき土地利用の方針を検討する。 対象：市内土地建物 手段：都市計画基礎調査の結果を踏まえ、他の行政計画との整合が図られるよう検討を進める。			
2018(平成30)年度目標	都市計画基礎調査の実施を踏まえ、本市の土地利用方針が検討されている。	現状値 (25年度末)	5年毎実施 (都市計画基礎調査)	
2015(平成27)主な事業内容	○土地利用方針の検討			
		事業費 (予算額)	16,000千円	

< 2015(平成27)年度 進捗管理表 >

主な事業内容の実施結果	第7回線引見直しに係る、都市計画決定手続きに関する公聴会開催(1回)案の縦覧(1回)		目標達成状況	都市計画基本図を修正をした。
	都市計画基礎調査の準備業務として、都市計画基本図の修正		事業費(実績額)	9,988,435円
進捗状況の評価	個別事情	ア 予定どおりに進捗、予定どおりに進捗(事業完了)	社会状況の変化、考慮すべき事情	特になし
		計画や施策、組織を横断する視点での取組み状況(相乗効果の有無)		特になし
個別事情を考慮した総合評価	(a) 個別事情を踏まえれば順調であるとみなせる。		特になし	
評価を踏まえての取組み(見直し)	特になし	検討・考慮を要する新たな課題や社会条件など	特になし	
審議会・懇話会等の意見	評価については妥当と考える。 【事業の推進に係る意見・提案等】 実施結果については、いつ、どこで、どのような内容など具体的に記載をされたい。			

【総合計画の体系】	第4節 安全で安心な、快適な暮らしを支えるまち
	1 良好な住環境の形成により、くつろぎが生まれるまち
4-1	
計画における位置付け	該当なし

事業名	計画的なまちづくり推進事業	● リーディング事業	課コード	0602	
		○ 基幹計画事業	所管名	まちづくり課	
事業概要	目的：まちづくり活動に対する市の支援方法を確立し、地区のまちづくりの計画づくりを支援する。 対象：市民及び事業者 手段：条例に基づくまちづくり協議会等を支援する。敷地面積の最低限度の基準を導入し、運用する。状況の変化に対応したまちづくりの方向性を模索し、まちづくり条例の改正等を行う。				
2018(平成30)年度目標	敷地面積の最低限度の基準を導入し、運用する。	現状値(25年度末)	導入していない。		
2015(平成27)主な事業内容	①まちづくり条例の改正 ・自治基本条例策定に合わせた検討・改正 ②状況の変化に対応したまちづくりの方向性の検討 ③敷地面積の最低限度の基準の導入・運用 ④まちづくり協議会等への補助			事業費(予算額)	10,588千円

< 2015(平成27)年度 進捗管理表 >

主な事業内容の実施結果	①②まちづくり審議会で議論を深め、方向性をまとめた。 ③地域特性や人口維持等を考慮した住環境を整理すべく、住環境形成に係る検討を行った。 ④広報ずし11月号で活動支援の周知を行ったが、問合せ等はない		目標達成状況	①②27年度中の検討項目は達成 ③27年度中の検討項目は達成 ④具体的事例がなかったため、未達成
			事業費(実績額)	2,065,749円
進捗状況の評価	イ 予定より遅れている	個別事情 社会状況の変化、考慮すべき事情 人口減少社会、空き家問題への配慮。	計画や施策、組織を横断する視点での取組み状況(相乗効果の有無)	特になし
個別事情を考慮した総合評価	(b) 個別事情を踏まえれば概ね順調であるとみなせる。	④以外については、おおむね予定通りに進行している。		
評価を踏まえての取組み(見直し)	④は、単に周知するだけでは不十分なため、地域自治との連携や自治基本条例の制定に合わせた整理が必要になる。	検討・考慮を要する新たな課題や社会条件など	人口減少社会、空き家問題への配慮。	
審議会・懇話会等の意見	評価については妥当と考える。 【事業の推進に係る意見・提案等】 「社会状況の変化、考慮すべき事情」に記載されている内容は、総合計画が策定される以前からの事情であり、その上で現計画を策定しているものと考えられることから、考慮すべき事情には当たらないのではないかと。			

■個別計画進行管理総括表

*安全安心アクションプラン《未策定》

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の評価

総括	評価	審議会・懇話会等の総括意見 (個別計画の懇話会等が作成)
市民一人ひとりの防犯・防災意識の向上に向けた取り組みを推進したところ、地域安心安全情報共有システムの登録者は増加し平成30年度の目標を上回った。地域での助け合いの取り組みを支援につなげるための検討を進めている。	B	特になし

◇施策体系別の評価

施策体系	評価	コメント	総合評価の状況			審議会・懇話会等の意見
			(a)	(b)	(c)	
1 避難行動要支援者支援事業	b	避難行動要支援者台帳システム導入に向け、仕様や庁内でのシステム連携等の検討を行った。また自治会等に向けて説明会を行った。		1		《事業進行管理表欄再掲》 評価については妥当と考える。
2 防犯対策事業	b	警察や防犯関係団体と連携しながら、防犯活動の支援及び情報共有等を行った。		1		《事業進行管理表欄再掲》 評価については、妥当と考える。

◇審議会・懇話会等の意見

＜各所管による事業進行管理表の評価状況についての意見＞

特になし

＜計画を越えた連携についての意見＞

各小学校区住民自治協議会でも、防犯活動を柱の一つとして掲げている。
より成果が上がることを目指して、防犯活動を行う他の団体との役割や協力関係のあり方を整理する必要があると考える。

◇審議会・懇話会等の意見／【Action】の観点からの意見等

＜事業の推進・改善に向けて意見・提案＞（今年度、来年度に向けた意見）

津波ハザードマップと土砂災害ハザードマップの重ね合わせをし、市民等が安全な避難経路が取れるよう情報提供に努めて欲しい。

＜個別計画の今後の展開や策定に向けて考慮・検討を要する事項＞（次期計画に向けた意見）

地域による防犯カメラの設置に対する支援について、計画に位置付けることを検討すべきと考える。

【総合計画の体系】	第4節 安全で安心な、快適な暮らしを支えるまち
	2 災害に強く、犯罪のない安全なまち
4-2	
計画における位置付け	

事業名	避難行動要支援者支援事業	<input checked="" type="radio"/> リーディング事業 <input type="radio"/> 基幹計画事業	課コード		
			所管名	防災課	
事業概要	<p>目的：災害発生時における避難行動要支援者への支援を適切かつ円滑に実施するために策定された避難行動要支援者避難支援計画に基づき、避難行動要支援者の自助及び地域（近隣）の共助を基本とした避難支援体制の整備を図ることにより、地域の安全・安心体制を強化する。</p> <p>対象：避難行動要支援者、自主防災組織等、地域住民、民生委員・児童委員、社会福祉協議会、地域包括支援センター、基幹相談支援センター、相談支援事業所、避難行動要支援者の関係団体、消防本部及び警察</p> <p>手段：避難行動要支援者の名簿を作成する。同名簿の登載者のうち、同意が取れた者について自主防災組織等及び関係機関等に情報提供を行う。地域自主防災組織等は、民生委員・児童委員等の協力を得ながら個別支援プランを作成する。地域住民は、平常時には地域の避難行動要支援者に対して声かけや見守りを行い、災害時には個別支援プランに基づき避難支援を行う。また、災害時には避難行動要支援者の名簿情報を、同意の有るなしにかかわらず関係機関等に提供し安否確認や避難支援を行う。</p>				
2018(平成30)年度 目標	避難行動要支援者の個別支援プランが15パーセント作成されている。	現状値 (25年度末)	個別支援プランの作成支援に着手していない		
2015(平成27)主な事業内容	○避難行動要支援者台帳システムの検討 ・仕様等の検討 ○庁内会議の開催による意見交換 ○自主防災組織等及び関係機関等への制度の周知・協力依頼 ○自主防災組織等に対して避難行動要支援者の個別支援プランの作成依頼 ○自主防災組織等が存在しない地区への取組みの検討			事業費 (予算額)	10,500千円

< 2015(平成27)年度 進捗管理表 >

主な事業内容の実施結果	避難行動要支援者台帳システムの仕様等に関し検討 7月に鎌倉市においてシステムの視察 11月に庁内会議を開催しシステム連携について検討 下桜山交友会への説明会を開催 社会福祉協議会との打合せを3回実施		目標達成状況	個別支援プランの作成支援に未着手（システム導入後の28年度から着手予定）
			事業費(実績額)	0円
進捗状況の評価	ア 予定どおりに進捗、予定どおりに進捗（事業完了）	個別事情	社会状況の変化、考慮すべき事情	特になし
			計画や施策、組織を横断する視点での取組み状況（相乗効果の有無）	福祉部、市民協働部と連携して実施しており、福祉関連事業所等との連携を図りやすい。
個別事情を考慮した総合評価	(b) 個別事情を踏まえれば概ね順調であるとみなせる。		個別支援プランの作成は、システム導入後の29年3月以降となる。	
評価を踏まえての取組み(見直し)	特になし		検討・考慮を要する新たな課題や社会条件など	特になし
審議会・懇話会等の意見	評価については妥当と考える。 【事業の推進に係る意見・提案等】 個別支援プランについては、デリケートな問題であるため慎重に取り組むべき。まずは要支援者自身に理解を示してもらうことが重要であると考えます。 個別支援プランは、厳格に実施することは犠牲を多く生む可能性も否めないため、その部分も考慮した運営を検討されたい。			

【総合計画の体系】	第4節 安全で安心な、快適な暮らしを支えるまち
4-2	2 災害に強く、犯罪のない安全なまち
計画における位置付け	

事業名	防犯対策事務費	<input checked="" type="radio"/> リーディング事業 <input type="radio"/> 基幹計画事業	課コード	0401	
			所管名	生活安全課	
事業概要	目的：一人ひとりが「自分の安全は自分で守る」との意識を持ち、地域の安全は地域で守り、住民や事業者が地域の一員であることを自覚し、地域を守る活動に関わってもらう。 対象：市民 手段：警察、防犯関係団体と連携して防犯意識の向上に向けた広報・啓発を行う。市内で発生している犯罪状況、防犯情報を市と市民が共有する。地域住民等による自主的なパトロール活動を進めるための支援を行う。防犯物品の貸与、補助金等による支援を行う。				
2018(平成30)年度 目標	地域安心安全情報共有システムの防犯情報の登録者数が9,000人になっている。	現状値 (25年度末)	8,332人		
2015(平成27)主な事業内容	○逗子市防犯推進連絡協議会の開催 ○防犯ボランティア団体への支援 ・自治会等への啓発・防犯物品の貸与 ○青色回転灯パトロールカーによる防犯活動の実施 ○地域安心安全情報共有システムの運用 ・防犯情報の提供 ○防犯アドバイザーの配置			事業費 (予算額)	25,005千円

< 2015(平成27)年度 進捗管理表 >

主な事業内容の実施結果	逗子市防犯推進連絡協議会の開催：2回 防犯ボランティア団体への補助金：3団体 年間を通して青色回転灯パトロールカーによる防犯活動を実施した 防犯メールの配信：32回 防犯アドバイザー1名配置		目標達成状況	地域安心安全情報共有システム登録数が9,562件となり平成30年度目標値を上回った。
			事業費 (実績額)	2,905,521円
進捗状況の評価	ア 予定どおりに進捗、予定どおりに進捗(事業完了)	個別事情 社会状況の変化、考慮すべき事情 計画や施策、組織を横断する視点での取組み状況(相乗効果の有無)	特になし	
個別事情を考慮した総合評価	(b) 個別事情を踏まえれば概ね順調であるとみなせる。		警察、防犯関係団体との連携している	
評価を踏まえての取組み(見直し)	特になし		検討・考慮を要する新たな課題や社会条件など	特になし
審議会・懇話会等の意見	評価については妥当と考える。 【事業の推進に係る意見・提案等】 防犯メールが多いということは、犯罪が多発し社会状況が良くないことを表している。地域の見守りの役割を担っている防犯ボランティア団体には役割遂行のためにも補助金を交付すべきであり、現在の交付額が十分な効果を生んでいるのかについて、改めて検討すべきと考える。			

歩行者と自転車を優先するまちアクションプラン

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の評価

総括	評価	審議会・懇話会等の総括意見 (個別計画の懇話会等が作成)
平成28年度のカーフリーデー実施に向けた準備を進めるとともに、イベント後援、ステッカー配布など、できることから進めている。	A	特になし

◇施策体系別の評価

施策体系	評価	コメント	総合評価の状況			審議会・懇話会等の意見
			(a)	(b)	(c)	
1 安全で快適な歩行空間の創出	a	イベント時のステッカー配布による周知活動や道路工事に伴うバリアフリーの視点での景観での取組を進めてきた。	1			特になし
2 適切な自転車利用ができる環境づくり	a	駅前の駐輪場整備に取り組むとともに、イベントの後援やステッカー配布に取り組んできた。 また、例年の交通安全活動のほか、市内幼稚園からの要望に基づき、警察、市交通安全担当課、市交通政策担当課共同で、自転車ルール教室を開催した。	1			特になし
3 公共交通アクセス手段の向上	a	自治会要望に基づき、バス事業者への要望活動の実施、バスロケーションシステムが整備された。また、高齢者用定期券などの優遇サービスの周知を図った。 また、コミュニティバス導入方策を引き続き検討した。	1			特になし
4 車に頼りすぎない仕組みづくり	a	平成28年度から市が共催によるカーフリーデーを実施するための準備活動	1			特になし

◇審議会・懇話会等の意見

<各所管による事業進行管理表の評価状況についての意見>

特になし

<計画を越えた連携についての意見>

特になし

◇審議会・懇話会等の意見／【Action】の観点からの意見等

<事業の推進・改善に向けて意見・提案>(今年度、来年度に向けた意見)

特になし

<個別計画の今後の展開や策定に向けて考慮・検討を要する事項>(次期計画に向けた意見)

特になし

【総合計画の体系】	第4節 安全で安心な、快適な暮らしを支えるまち
4-3	3 歩行者と自転車を優先するまち
計画における位置付け	安全で快適な歩行空間の創出、適切な自転車利用ができる環境づくり、公共交通アクセル手段の向上、車に頼りすぎない仕組みづくり

事業名	歩行者と自転車を優先するまち推進事業	<input checked="" type="radio"/> リーディング事業 <input type="radio"/> 基幹計画事業	課コード	0601	
			所管名	環境管理課	
事業概要	目的：安全で快適な歩行空間を創出する。適切な自転車利用ができる環境づくり。公共交通アクセス手段の向上。自動車に頼りすぎない仕組みづくりの実現。 対象：歩行者、自転車、公共交通、自動車など市内の道路を利用する者及び市民、警察、行政、商店会、交通事業者などの関係機関等 手段：歩行空間における支障物の解消、歩行者優先の周知・啓発活動、楽しんで歩ける環境づくり。自転車利用環境の向上、ルール・マナーの効果的な周知と啓発、自転車を楽しむ風土づくり。公共交通の利用促進。車の利用方法の見直し。地域主体のコミュニティバス等の導入に係る研究及び運行に向けた支援。				
2018(平成30)年度 目標	限られた道路空間における、歩行者・自転車・自動車の共存方法の具体的な方策が示されている。	現状値 (25年度末)	アクションプランを策定した。		
2015(平成27)主な事業内容	○JR逗子駅前周辺地区重点プログラムの実施 ○自転車利用のルール、マナーの徹底した周知 ○歩行者と自転車のまちづくりニュース全戸配布 ○カーフリーデー*の実施（共催） ○地域主体のコミュニティバス等の研究・導入手引きの検討			事業費 (予算額)	11,536千円

< 2015（平成27）年度 進捗管理表 >

主な事業内容の実施結果	自転車利用のルール、マナー教室の交通所管課と開催（1回） 周知ステッカー配布（811枚）、ポスター掲示（22枚） 歩行者自転車WSの開催（4回） 歩行者と自転車のまちづくりニュース全戸配布（2回） 平成28年カーフリーデーの実施に向けた検討 コミュニティバスの研究の一環として横浜市視察		目標達成状況	カーフリーデー導入は平成28年度からとし、目標達成に向けた準備を実施した。
			事業費 (実績額)	522,174円
進捗状況の評価	ア 予定どおりに進捗、予定どおりに進捗（事業完了）	個別事情 社会状況の変化、考慮すべき事情 計画や施策、組織を横断する視点での取組み状況（相乗効果の有無）	特になし	
個別事情を考慮した総合評価	(a) 個別事情を踏まえれば順調であるとみなせる。		カーフリーデー実施について平成28年度実施予定であるため。	
評価を踏まえての取組み(見直し)	特になし		検討・考慮を要する新たな課題や社会条件など	歩行者・自転車・自動車の共存方法の具体的な方策検討にあたり、地元商店街や交通事業者、駅前利用者等の理解を得る。
審議会・懇話会等の意見	特になし			

■個別計画進行管理総括表

* 公共施設等総合管理計画 《未策定》

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の評価

総括	評価	審議会・懇話会等の総括意見 (個別計画の懇話会等が作成)
社会ニーズに対応し、長期的な視点に立った都市機能整備を行うために必要な調査・検討を行った。	B	特になし

◇施策体系別の評価

施策体系	評価	コメント	総合評価の状況			審議会・懇話会等の意見
			(a)	(b)	(c)	
1 JR東逗子駅前用地活用事業	a	JR東逗子駅前用地の活用に向け、事業手法などの調査等を行った。	1			《事業進行管理表欄再掲》 評価・記載内容については妥当と考える。
2 市営住宅整備事業	b	市営住宅整備に向けて、調査等を進めた。		1		《事業進行管理表欄再掲》 評価については妥当と考える。
3						
4						

◇審議会・懇話会等の意見

＜各所管による事業進行管理表の評価状況についての意見＞

特になし

＜計画を越えた連携についての意見＞

特になし

◇審議会・懇話会等の意見／【Action】の観点からの意見等

＜事業の推進・改善に向けて意見・提案＞（今年度、来年度に向けた意見）

特になし

＜個別計画の今後の展開や策定に向けて考慮・検討を要する事項＞（次期計画に向けた意見）

特になし

【総合計画の体系】	第4節 安全で安心な、快適な暮らしを支えるまち
	4 都市機能の整った快適なまち
4-4	
計画における位置付け	

事業名	JR東逗子駅前用地活用事業	● リーディング事業	課コード	0201
		○ 基幹計画事業	所管名	企画課
事業概要	目的：JR東逗子駅前の旧国鉄清算事業団用地を有効活用することで、駅周辺の快適性・利便性を向上させるとともに、活性化を図る。 対象：市、市民、事業者 手段：市民や事業者、地権者との合意形成を図り、用地活用計画を策定する。また、民間の資金と経営能力・技術力（ノウハウ）を活用し、施設整備を行う。			
2018(平成30)年度目標	(仮称)JR東逗子駅前用地活用計画について、市民や事業者、地権者との合意形成が図られている。	現状値 (25年度末)	計画の策定に着手していない。	
2015(平成27)主な事業内容	○(仮称)JR東逗子駅前用地活用計画の策定・調査・研究			
		事業費 (予算額)	15,300千円	

< 2015(平成27)年度 進捗管理表 >

主な事業内容の実施結果	一般財団法人地域総合整備財団の公民連携アドバイザー派遣事業を活用し、アドバイザーからPPP/PFIを活用した事業について基礎的な講義を受けた。 受講職員10人(経営企画部6人、総務部2人、環境都市部2人) 東京オリンピック・パラリンピック2020大会開催に係る建設需要の高まりを想定し建設の時期を見極めて、事業スケジュールを決定した。		目標達成状況	JR東逗子駅前用地の活用に向けて、有力な事業実施手法であるPPP/PFIについて職員間の情報共有を図った
			事業費(実績額)	0円
進捗状況の評価	個別事情	社会状況の変化、考慮すべき事情	特になし	
		計画や施策、組織を横断する視点での取組み状況(相乗効果の有無)	特になし	
個別事情を考慮した総合評価	(a) 個別事情を踏まえれば順調であるとみなせる。		特になし	
評価を踏まえての取組み(見直し)	特になし		検討・考慮を要する新たな課題や社会条件など	平成28年度に策定予定の公共施設等総合管理計画に位置付ける
審議会・懇話会等の意見	評価・記載内容については妥当と考える。			

【総合計画の体系】	第4節 安全で安心な、快適な暮らしを支えるまち
4-4	4 都市機能の整った快適なまち
計画における位置付け	

事業名	市営住宅整備事業	<input checked="" type="radio"/> リーディング事業 <input type="radio"/> 基幹計画事業	課コード	0606
			所管名	都市整備課
事業概要	目的：健康で文化的な生活を営むことができる市営住宅を計画的に整備する。 （老朽化した市営住宅を統廃合し、池子住宅に続き、桜山住宅を建替える。） 対象：市営住宅の利用者及びこれから市営住宅を必要とする市民 手段：市営住宅管理計画に基づき、市営住宅の計画的な整備・配置を実施するとともに、既存市営住宅のバリアフリー化を推進する。			
2018(平成30)年度 目標	市営住宅管理計画に位置付けられた目標管理戸数の再整備が行われている。	現状値 (25年度末)	8箇所 124戸	
2015(平成27)主な事業内容	○桜山住宅の整備 ○既存市営住宅のバリアフリー化の検討			
		事業費 (予算額)	754,054千円	

< 2015(平成27)年度 進捗管理表 >

主な事業内容の実施結果	市営桜山住宅建替敷地測量 市営桜山住宅建替敷地地質調査 市営桜山住宅建替敷地土壌汚染調査 が予定どおり終了した。 既存市営住宅のバリアフリー化については、課内での検討を行った。		目標達成状況	市営住宅管理計画に位置付けられた目標管理戸数へ向けて整備を行っている。
		事業費 (実績額)	6,388,130円	
進捗状況の評価	ア 予定どおりに進捗、予定どおりに進捗(事業完了)	個別事情	社会状況の変化、考慮すべき事情 計画や施策、組織を横断する視点での取組み状況(相乗効果の有無)	市営桜山住宅の周辺住民及び入居者に理解を得て、計画通りに建替えを進める。 市営桜山住宅周辺の道路、水路の再整備について、周辺住民の意見を聴取しながら進めている。
個別事情を考慮した総合評価	(b) 個別事情を踏まえれば概ね順調であるとみなせる。		特になし	
評価を踏まえての取組み(見直し)	特になし		検討・考慮を要する新たな課題や社会条件など	特になし
審議会・懇話会等の意見	評価については妥当と考える。			

■個別計画進行管理総括表

* 商工業振興計画・小坪海浜地域活性化計画 《未策定》

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の評価

総括	評価	審議会・懇話会等の総括意見 (個別計画の懇話会等が作成)
逗子海岸や小坪漁港という地域資源を、逗子の魅力として発信するため、保全等の取組みを行った。保全に取組むと同時に活性化に資するイベント等を実施した。	A	特になし

◇施策体系別の評価

施策体系	評価	コメント	総合評価の状況			審議会・懇話会等の意見
			(a)	(b)	(c)	
1 逗子海岸保全活用事業	a	安全で快適なファミリービーチの維持に向け、清掃やマナーアップ警備員による注意・啓発を行いながら、ファミリービーチイベントの実施などに取り組んだ。	1			《事業進行管理表欄再掲》 評価・記載内容については妥当と考える。
2 商工業振興事業	a	商工業活性化のために、商工会等への助成や支援等を行った。	1			《事業進行管理表欄再掲》 評価については妥当と考える。
3 小坪海浜地活性化事業	a	①小坪漁港の整備に向けた準備を行った。 ②国有海浜地不法占拠物件の撤去を行った。	1			《事業進行管理表欄再掲》 評価・記載内容については妥当と考える。
4						

◇審議会・懇話会等の意見

＜各所管による事業進行管理表の評価状況についての意見＞

特になし

＜計画を越えた連携についての意見＞

特になし

◇審議会・懇話会等の意見／【Action】の観点からの意見等

＜事業の推進・改善に向けて意見・提案＞（今年度、来年度に向けた意見）

商店街等に対する補助金等の交付について、事業計画等申請内容を考慮しているとは思いますが、物事を広範囲に見て、より効果が上がっていくよう、更なる努力と工夫を期待する。

＜個別計画の今後の展開や策定に向けて考慮・検討を要する事項＞（次期計画に向けた意見）

特になし

【総合計画の体系】	第4節 安全で安心な、快適な暮らしを支えるまち
	4-5 5 地域資源を生かした個性豊かなにぎわいのあるまち
計画における位置付け	

事業名	逗子海岸保全活用事業	◎ リーディング事業	課コード	0405
		○ 基幹計画事業	所管名	経済観光課
事業概要	目的：逗子海岸のあり方や保全・活用方法を検討し、ファミリービーチとして安全で快適に利用できる海岸をつくる。 対象：市民、海岸利用者、海水浴客、観光客 手段：海岸の美化（啓発、アダプトプログラムの推進、清掃等）、海水浴場の開設・運営、海浜公衆トイレの維持管理、海水浴場のあり方の検討と改善策の実施			
2018(平成30)年度 目標	逗子海岸が安全で快適なファミリービーチとして維持されており、海水浴客数が30万人を超えている。	現状値 (25年度末)	201,300人 【2014(平成26)年度実績】	
2015(平成27)主な事業内容	○海水浴場のあり方の検討と改善策の実施 ○海岸の美化 ○海水浴場の開設・運営 ○海浜公衆トイレの維持管理			
		事業費 (予算額)	332,000千円	

< 2015(平成27)年度 進捗管理表 >

主な事業内容の実施結果	逗子海水浴場の運営に関する検討会を9回開催 かながわ海岸美化財団による海岸清掃を121日実施、逗子ビーチクリーン隊との逗子海岸一斉清掃を9回実施 海水浴場を6月26日から8月30日の66日間開設 海浜公衆トイレの清掃271回及び修繕を実施 海水浴場活性化イベントの開催(参加者6,219人) マナーアップ警備員による注意・啓発を66日間実施		目標達成状況	237,200人 【2015(平成27)年度実績】
			事業費(実績額)	38,761,789円
進捗状況の評価	ア 予定どおりに進捗、予定どおりに進捗(事業完了) 個別事情	社会状況の変化、考慮すべき事情	特になし	
		計画や施策、組織を横断する視点での取組み状況(相乗効果の有無)	特になし	
個別事情を考慮した総合評価	(a) 個別事情を踏まえれば順調であるとみなせる。	安全で快適な海水浴場を維持したうえで、海水浴客数が増加しているため		
評価を踏まえての取組み(見直し)	特になし	検討・考慮を要する新たな課題や社会条件など	特になし	
審議会・懇話会等の意見	評価・記載内容については妥当と考える。 【事業の推進に係る意見・提案等】 実施結果についても詳細に記載されており、非常に理解しやすい。 目標である30万人を考えると主な事業内容に記載されている取組みだけでは目標達成が困難にも感じられる。事業結果に記載されている海水浴場活性化イベントの更なる発展を考えると良いのではないか。			

【総合計画の体系】	第4節 安全で安心な、快適な暮らしを支えるまち
	4-5 5 地域資源を生かした個性豊かなにぎわいのあるまち
計画における位置付け	

事業名	商工業振興事業	<input checked="" type="radio"/> リーディング事業 <input type="radio"/> 基幹計画事業	課コード	0405
		所管名	経済観光課	
事業概要	目的：中小企業者や商店街を支援することにより商工業を活性化する。 商工業振興の方向性を明確化し、市民・商業者・行政との協働のもと活性化を図る。 対象：市民、商工業者、中小企業者、商工会、同業者団体、商店街 手段：逗子市商工会が実施する市内商工業者の相談指導や地域活性化事業に対する補助金を交付する。商店街に補助金を交付する。（仮称）商工業振興計画を策定する。			
2018(平成30)年度 目標	(仮称) 商工業振興計画の策定に着手している。	現状値 (25年度末)	策定に向けた調査・研究に着手していない。	
2015(平成27)主な事業内容	○商工会への助成 ○商店街への助成 ○（仮称）商工業振興計画の調査・研究			
	事業費 (予算額)	312,400千円		

< 2015（平成27）年度 進捗管理表 >

主な事業内容の実施結果	逗子市商工会へ商工業振興事業補助金、信用保証料補助金、商店街等回遊事業補助金、逗子市プレミアム商品券発行事業補助金を交付 商店街4団体へ商店街活性化事業補助金を交付 商店街1団体へ商業振興共同施設補助金を交付 創業支援事業計画の策定及び認定		目標達成状況	(仮称) 商工業振興計画の策定に向けた情報収集等を始めている。
			事業費 (実績額)	78,073,288円
進捗状況の評価	ア 予定どおりに進捗、予定どおりに進捗(事業完了) 個別事情	社会状況の変化、考慮すべき事情	特になし	
		計画や施策、組織を横断する視点での取組み状況(相乗効果の有無)	特になし	
個別事情を考慮した総合評価	(a) 個別事情を踏まえれば順調であるとみなせる。	商工会及び商店街への助成を行うとともに連携を図り、(仮称) 商工業振興計画の策定に向けた情報収集を始めている。		
評価を踏まえての取組み(見直し)	特になし	検討・考慮を要する新たな課題や社会条件など	特になし	
審議会・懇話会等の意見	評価については妥当と考える。 【事業の推進に係る意見・提案等】 商工会等への補助金については、その効果についても記載すべきである。			

【総合計画の体系】	第4節 安全で安心な、快適な暮らしを支えるまち
	4-5 5 地域資源を生かした個性豊かなにぎわいのあるまち
計画における位置付け	

事業名	小坪海浜地域活性化事業	● リーディング事業	課コード	0405
		○ 基幹計画事業	所管名	経済観光課
事業概要	目的：逗子で唯一の地場産業である漁業の振興を図るとともに、小坪漁港を整備し、小坪海浜地域の活性化をめざす。 対象：市民、事業者（小坪海浜地域）、小坪漁業協同組合 手段：小坪漁業協同組合への補助金の交付、国有海浜地不法占拠物件の撤去、国有海浜地の整理、小坪漁港の整備・保全工事、（仮称）小坪海浜地域活性化計画の策定			
2018(平成30)年度 目標	小坪漁港の整備・保全工事が完了している。	現状値 (25年度末)	整備・保全工事に着手していない。	
2015(平成27)主な事業内容	○小坪漁業協同組合への補助金の交付 ○国有海浜地不法占拠物件の撤去 ○小坪漁港の整備・保全工事			
	事業費 (予算額)	251,480千円		

< 2015（平成27）年度 進捗管理表 >

主な事業内容の実施結果	小坪漁業協同組合へ補助金を交付 国有海浜地不法占拠物件を1件撤去 小坪漁港水産物供給基盤機能保全工事設計業務を実施		目標達成状況	小坪漁港の整備・保全工事の実施に向けた準備を行っている。
			事業費 (実績額)	14,036,586円
進捗状況の評価	ア 予定どおりに進捗、予定どおりに進捗（事業完了）	個別事情	社会状況の変化、考慮すべき事情	特になし
		計画や施策、組織を横断する視点での取組み状況（相乗効果の有無）		特になし
個別事情を考慮した総合評価	(a) 個別事情を踏まえれば順調であるとみなせる。	国有海浜地不法占有物件は残り1件となり、明け渡しの交渉が進んでいる。また、小坪漁港の保全工事についても平成28年度から着手する予定となっているため。		
評価を踏まえての取組み(見直し)	特になし	検討・考慮を要する新たな課題や社会条件など	特になし	
審議会・懇話会等の意見	評価・記載内容については妥当と考える。 【事業の推進に係る意見・提案等】 唯一の地場産業であることを考えると補助金が少ないのではないかと。地場産業を育成していく観点から小坪漁協との協議を今後深めていく必要があると思われる。ハード部分について考えるだけでなく、漁協の活性化などソフト部分について検討すべきではないか。また様々な問題があると思われるが、（仮称）小坪海浜地域活性化計画が少しでも早く策定されることを望む。			